

## 臨床研究「ジフェニルアルシン酸 (DPAA) 曝露者における脳機能画像及び形態画像検査と生体影響に関する長期的統計解析の研究」について

当院では、標記の臨床研究を実施しております。

この研究は当院において、環境省の委託健診事業「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業」に基づく健康診査を受診されている方、2005年から2012年に「脳血流 SPECT の健常対照群データベース作成」にご協力いただいた方、2017年から2018年に「DPAA 曝露者における脳及び生体影響に関する長期的統計解析のための脳血流 SPECT 及び脳 MRI の正常対照群経年変化データベースの作成」にご協力いただいた方の検査画像を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされています。この研究に関するお問い合わせがありましたら、下記の問い合わせ先へご照会ください。

本研究の概要は以下のとおりです。

### (1) 研究対象

- (ア) 環境省の委託健診事業「茨城県神栖町における有機ヒ素化合物による環境汚染及び健康被害に係る緊急措置事業」に基づく健康診査を受診されている方
- (イ) 2005年から2012年までに当院で「脳血流 SPECT の健常対照群データベース作成」にご協力いただいた方
- (ウ) 2017年から2018年に当院で「DPAA 曝露者における脳及び生体影響に関する長期的統計解析のための脳血流 SPECT 及び脳 MRI の正常対照群経年変化データベースの作成」にご協力いただいた方

### (2) 研究の意義・目的・方法

有機ヒ素 (DPAA) 曝露者について脳血流シンチグラフ上の脳血流低下部位、脳 MRI 上の脳容積変化部位を確認し、長期間残存すると思われる軽微な脳血流低下、脳容積変化について集団で解析を行います。併せて、中毒の経過を追跡していく上で脳血流 SPECT 及び脳 MRI 所見が客観的指標になる可能性について研究を行います。

### (3) 研究機関名・研究者名

筑波大学附属病院・神経内科 石井一弘

### (4) 保有する個人情報に関する利用目的

有機ヒ素曝露者における脳血流低下がどの部位にどの程度あるかを客観的に証明し、長期間残存すると思われる軽微な脳血流低下を検出するために利用します。

### (5) 個人情報の取り扱い

個人情報の取り扱いにつきましては、以前にご同意いただいた際にご説明した時と変更はありません。本研究でご提供いただいた個人情報は、個人を特定できない形式に記号化した状態で管理しますので、個人情報が外部に漏れることは一切ありません。また、研究成果が学会や学術雑誌で発表されるときでも、あなたの個人情報は厳重に守られ、患者さんを特定されることはありません。

この研究にご質問等がありましたら下記までお問い合わせ下さい。

(6) 保有する個人情報の問い合わせ・苦情等の連絡先

筑波大学附属病院

〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名： 神経内科 石井一弘

電話・FAX：029-853-3224